

報 告 書 抄 録

ふりがな	かねがもりにしいせき							
書 名	金森西遺跡							
シリーズ名	草津守山線補助道路整備事業（金森工区）に伴う発掘調査報告書							
編 著 者 名	堀 真人 小林 裕季 片岡太郎 佐々木由香							
編 集 機 関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所 在 地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発 行 年 月	平成28年（2016年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
かねがもりにしいせき 金森西遺跡	しがけんもりやまし 滋賀県守山市 かねがもりちよう 金森町	252018	207-058	35° 03' 34"	135° 58' 34"	20110712 ～ 20120323 20120717 ～ 20130322 20130401 ～ 20131029	11,690㎡	草津守山線補助 道路整備事業 (金森工区)
所収遺跡名	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
金森西遺跡	集落跡	縄文時代後期		落ち込み		縄文土器・石製品 ・漆塗櫛		
		古墳時代前期		竪穴建物 掘立柱建物 布掘建物 河道 溝 井戸 土坑		弥生土器・土師器・ 木製品・石製品・ 玉類未成品・銅鏃		
		古墳時代後期 ～飛鳥時代		溝		土師器・須恵器		
		平安時代以降		溝 堆積層		土師器・須恵器・ 黒色土器・灰釉陶器・ 青磁・白磁		
要 約	<p>縄文時代後期は落ち込み状の地形の堆積土から縄文土器などがまとまって出土し、漆塗櫛も出土した。漆塗櫛は櫛歯を結菌した紐を装飾的に編み込んで黒色の漆と水銀朱を用いて塗膜したもので、全国的にみても類例のない資料である。</p> <p>遺跡の中心時期となる古墳時代前期では、数棟単位の竪穴建物や掘立柱建物から構成される集落跡を検出し、建物付近を流れる河道からは多量の土器などの遺物が出土した。また、緑色凝灰岩や滑石を用いた玉作りを行っていたことを示す未成品や素材剥片が出土した。湖南地域における集落の様相を考えるうえで新たな成果を得ることができた。</p>							